



高生の丘

北九州市立高生中学校

学校通信 5月号 No.2

発行責任者 校長 木村 康晴

TEL 881-3276

平成24年5月30日発行

■ 規律あり、笑顔ありの3日間。

ふれあい合宿（1年生）

—やり遂げた充実感に今後、期待—



5月16日（水）から、2泊3日で1年生がふれあい合宿に行きました。場所は、小倉南区のかぐめよし少年自然の家。山あり川あり、緑あふれる自然豊かな環境の中、規律、友愛、協同、奉仕の精神の育成を目的として、3日間様々な活動を行いました。

初日は、かぐめダム探検ウォーク。森の中を歩きながら班員と協力し、課題を解決していく活動です。この初日の活動で、学級の団結が深まったようです。2日目は、七重の滝ハイキングと、キャンドルサービス。キャンドルサービスでは、厳粛な雰囲気の中で整然とした儀式を行うことができ、1年生の規律正しい態度に感心いたしました。しかし、ゲームを楽しむ場面



では、大変身。罰ゲームで、教頭先生の「馬場チョップ」や、廣田先生の強烈シッペを大喜びで受けている様子に、大爆笑。

きちんとすべき場面ではきちんと、元気に楽しむ場面では全員で楽しむ1年生の雰囲気の良さを感じました。さらなる成長を期待しています。



生徒の感想

（1年1組 A さん）所員の方、先生方、そして友達と一緒にいてくれたから、きつかったハイキングでも一生懸命頑張れたのだと思いました。ふれあい合宿を通して、あらためて高生の生徒の一員になれた実感がしました。（抜粋）

■ 夢は逃げない、逃げるのは自分。

的場 亮氏 進路講演会（3年生）

5月14日（月）に、3年生を対象にした進路講演会を実施しました。講師は、敬愛高校の特別専任講師である、的場亮先生。大変人気のある講師で、日本全国を講演してまわっています。

この日は、「夢をかなえるためのコツ8」というテーマでお話をいただきました。心に響いた言葉を一生懸命にメモをとっている生徒も多かったです。最後の感動映像では、多くの生徒が涙していました。3年生の生徒たちには、この日の自分の決意を忘れず、自分の進路の目標を達成するため、精いっぱい努力してほしいです。



■ 新しい伝統を築く、生徒中央委員会

—築いていく 新たな伝統—

5月25日（金）に生徒中央委員会が開催され、今年度の生徒会活動や学校に対する要望等が審議されました。今年度の生徒会執行部が掲げたテーマは、「築いていく 新たな伝統」。このテーマに、高生中学校の新しいよき伝統を築き上げようとする、力強い意気込みを感じます。今後の生徒会活動に期待しています。



<とんかつ広場に、新しい花が仲間入り>



校務員の松本さんが、中庭の丸柱に、花籠を取り付けてくれました。技術の高さに驚き。学校の環境整備に大変力を尽くしてくれています。日々、感謝。